

のびる本県の輸出

23年は27億円・綿糸硫酸セメントが激増

本県の輸出は毎年増加の傾向にあり、本年は二六億九千万円と大巾に増加している。(三十二年二十億九千万円、三十二年二十億九千万円、三十二年二十億九千万円)輸出額の大きいものは、綿糸、生糸、化学肥料、セメント等大工場製品であるが、全般的に順調な伸びを示しており、特に増加したものは綿糸、硫酸セメントなどである。その他中小企業製品は、件数の割に金額的には少ないが、沖繩台湾向の木材などは、相当活況を呈している。竹製品食品関係は三十二年の線を保っている。又地域別に見ると、東南アジア、韓国などは、昨年比に減少しているが、沖繩台湾向などには増加している。本年特に有望と思われるものは、化学肥料、セメントなど台湾韓国向の結晶される見通しがある中で、中共方面に対する大巾な増加が期待される。沖繩貿易については、九州西廻り定期航路の開通によって県内貿易港の活用が軌道に乗っており、木材合板青果物雑貨など相当活況を呈するものと思われる。又米国向竹籐は、二、三年米不況を極めていたが、局面的打開のため、全国的に調整組合などの設立により努力しているため、ようやく安定化のきざしを見せ始めたので、本年度は大いに期待出来るものと思われる。(熊本県産業館)

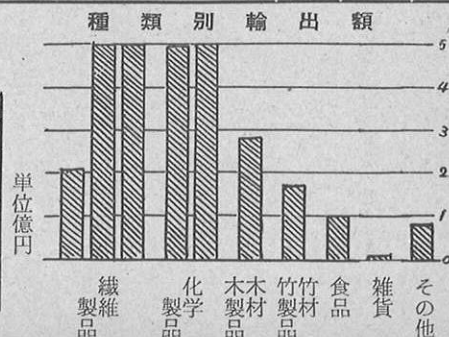
昭和32年輸出実績表

単位千円

品名	単位	数量	金額	仕向地	品名	単位	数量	金額	仕向地
綿糸	捆	9,562	860,589	米、英、欧州	味噌	貫	26,000	4,397	琉球
生糸	糸	1,705	344,599	米、欧州	醤油	樽	203	352	布哇、香港
硫酸セメント	屯	9,182	178,795	韓国、台湾	卵	函	150	427	琉球
硫酸	屯	17,153	504,252	〃	罐詰(みかん)	函	1,650	2,518	米国
酢	屯	4,750	11,920	中共	〃(あさり)	函	12,636	22,745	〃
紙	屯	40,404	266,815	韓国、台湾、ヴェトナム	鮮か	ケ	1,020	160	〃
					み野	屯	152	7,755	琉球
					野菜	〃	20	1,921	〃
					穀	〃	65	3,149	〃
					日本酒	〃	1	70	〃
					茸	〃	1	1	〃
					茶	貫	5,709	59,373	香港、琉球、米国
								104,556	
木材	屯	7,638	125,224	琉球、台湾	子ど	ケ	9,300	2,490	琉球
丸太	屯	11,356	136,863	台湾、琉球	まホム	ケ	6,995	4,630	〃
電柱	平方尺	911,784	15,315	琉球、英国、琉球	ゴム	ケ	24	1,491	〃
合板	平方尺	12	194	琉球	漁網	ケ	29	3,306	〃
床下駄	〃	6	503	〃	ウキ	ケ	5	180	〃
								12,385	琉球
								3,372	〃
								301	米国
								1,842	〃
								442	〃
								50,000	琉球
								21,334	〃
								77,469	
								2,693,318	
竹製筆	枚	2,000	61	西独	船料	屯	62	9	〃
竹材	屯	345	1,860	韓国	銅根	屯	15,074	1	〃
竹籐	平方尺	1,749,000	6,516	米国	製瓦	台	1	1,842	〃
竹帽	ケ	365	49	米国	文化製	機	1	442	〃
竹釣竿	本	1,200,000	8,400	米国	試真	誌	100	50,000	〃
					他	類	342	21,334	〃
								77,469	
								16,886	

輸出品市場構成率(%)

仕向地	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32
米	38	36.3	22	26	19	16.5
東南	15	3	4.13	53.1	40	29.5
アジア	2	46.8	17	3.6	11	8
国	0	0.6	0	2	0.1	0.3
香港	0	4	2	3.4	4	4.3
州	13	9.1	7.9	7	12	13
台湾	19	0	7.9	3	13	28.4
他	13	0.2	1.9	1.9	0.9	0
計	100	100	100	100	100	100



県営住宅(熊本市出水町国府) 3.1竣工

以上昭和三十三年度における重点的な土木事業のあらましを申述べましたが、建設計画の第二年も目前に終わろうとし、理想郷の実現にはほど遠いものではあります。引つゞき第三年度の建設計画に突入せんとするにあたり、計画建設の最終のねらいである、住みよい郷土、明るい郷土の建設と、国土保全、災害防除の基本線にそつて、一歩前進したいと念願いたしておりますので、県民の皆様格別の御理解と御協力をお願いいたしますと存じます。(監理課)

県民の皆さんへ

新入生の親さんへ

- ☆ 入学前に健康診断を。急に生活環境が変わるといふので、ツベルクリン反応検査などを安心して通学させるようにしましょう。
- ☆ 集団生活にこむむように。手や顔が一人でよく洗えるように。
- ☆ 用便が一人でできるように。衣服やはきもの世話が一人でできるように。
- ☆ きまつた時間をお友達と一緒に。
- ☆ 学用品の始末が一人でできるように。



- ☆ 必ず受けよう予防注射。小学校入学前六ヶ月以内に種痘とチフリアの予防注射をせよ受けねばなりません。もうお済みになったことと思いますが、もしまだでしたら早目に受けさせて下さい。
- ☆ 病気や異常はすぐ治療を。慢性の中耳炎や鼻炎などのある子供は今のうちに十分治療したいものです。入学の前に一度よく保健所なり専門の医師に御相談しましょう。
- ☆ 寄生虫の駆除を。寄生虫がいるか、いないかを検査しもし寄生虫がいれば、すぐに駆除して下さい。



健康保険料完納へ

健康保険の仕払をよくして加入者の利益をはかるには、先ず収入面、すなわち保険料の完全徴収が先決問題です。十二月末現在、健康保険の保険料徴収決定額は、四億四千四百萬円で、収納済額三億七千四百萬、収納未済額が七千二百萬あります。これを給付決定額四億二千四百萬と比較すれば、決定額に対しては二千四百萬、の赤字となが、収納額に対しては反対に四千八百萬の赤字となるので、この際ぜひとも滞納額の一掃に全力を注がねばなりません。そこで三十二年度総決算期を目前に控えて、長期滞納、悪質滞納の事業所に對しては、財産差押による財産確保、並びに債権差押公売による換価処分などの強制執行とともに、場合によっては告発処分もやむを得ないとされてい

ぜひ完納もつて行きたいものです。昨年中途からの金融引締による経済的な制約が、事業面に影響していることは事実ですが、一年間の総決算締切りも愈々切迫してきますので、この際社会保険を円滑に運営するため、ぜひ関係者の御協力をお願いしたいものです。